株式会社サンセイランディック

2021年12月期第３四半期
決算短信補足資料

2021年11月12日

Sansei Landic

2021年12月期第３四半期 トピックス

- 売上・利益ともに計画及び前年同期を上回る結果となり、特に利益は大幅に伸長した。その主な要因は、これまで営業面での対策を講じてきたことで、新型コロナウイルスの影響による販売活動の遅れを取り戻したことによるもの
- 新型コロナウイルス第5波の影響は想定以上に大きく、販売活動が停滞した影響が第4Qに見込まれることから、通期見通しは据え置き
- 仕入高は前年同期及び計画を下回るものの、来期販売物件の積上げを行っており、大きな懸念はない
- 建築事業は計画及び前年同期を下回る
- 東証の新市場区分において「スタンダード市場」を選択することを決議

業績動向

(単位:百万円)

	19/3Q	20/3Q	21/3Q		
	実績	実績	計画	実績	計画比
売上高	10,512	10,835	11,869	13,198	+1,329
売上総利益	3,076	2,478	2,909	3,475	+566
販管費	2,333	2,213	2,511	2,448	△62
営業利益	743	265	397	1,027	+629
経常利益	676	152	284	943	+658
当期純利益	425	92	197	547	+349

■売上高
前年同期比+21.8%

■売上総利益
前年同期比+40.2%

■営業利益
前年同期比+287.4%

■経常利益
前年同期比+519.8%

■当期純利益
前年同期比+492.4%

連結貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	20/12期	21/3Q		
	金額	金額	前期末比	増減率
現金及び預金	4,329	5,179	+849	+19.6%
販売用不動産	14,424	13,134	△1,290	△8.9%
有利子負債	8,341	7,853	△487	△5.8%
純資産	10,066	10,240	+173	+1.7%
総資産	20,070	19,849	△221	△1.1%
自己資本比率	50.1%	51.6%	+1.5pt	—

■ 販売用不動産

販売が順調に進んだことにより、前期末比で減少

20年3Q売上：108億35百万円

21年3Q売上：131億98百万円

■ 有利子負債

販売の増加により前期末比で減少

事業別販売実績

(単位:百万円)

	19/3Q	20/3Q	21/3Q		
	実績	実績	計画	実績	計画比
不動産販売事業	9,325	9,568	10,708	12,284	+14.7%
底 地	3,521	3,376	5,442	6,734	+23.7%
居抜き	5,291	3,949	4,393	4,932	+12.3%
所有権	171	1,876	573	338	△41.0%
その他	340	366	299	279	△6.6%
建築事業	1,186	1,267	1,160	913	△21.3%

■底地

売上・利益ともに計画を大幅に上回る

■居抜き

売上・利益ともに計画を上回る

■所有権

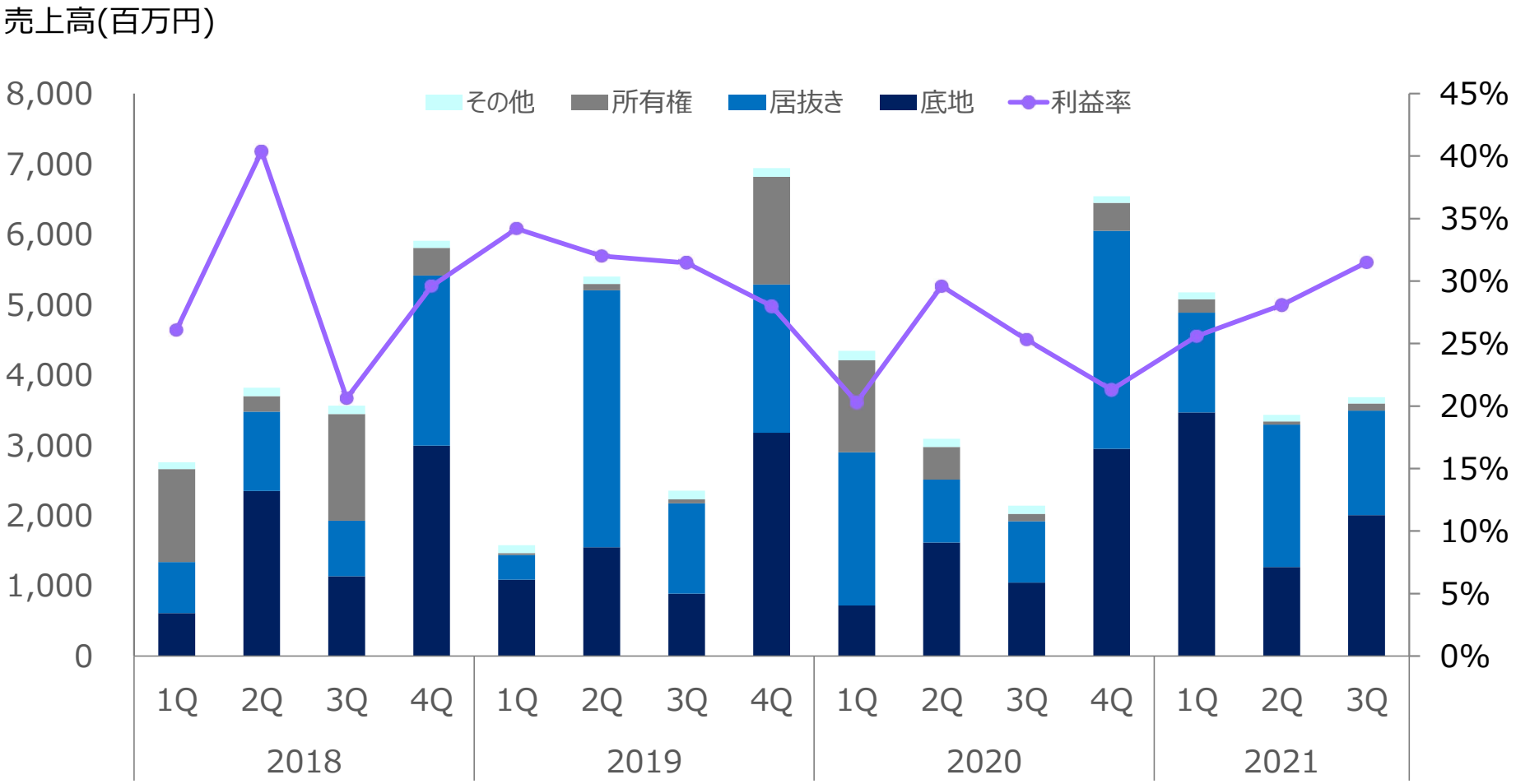
売上・利益ともに計画を下回るが、利益率は向上

■建築事業

売上・利益ともに計画を下回る

着工済のRC物件において、当初想定していた原価を大幅に上回る見込みとなったこと等により、約82百万円の工事損失引当金を計上

不動産販売事業 四半期推移表



事業別仕入・受注実績

(単位:百万円)

	19/3Q	20/3Q	21/3Q	
	実績	実績	実績	前年同期比
不動産販売事業	9,587	11,078	7,544	△31.9%
底 地	3,359	3,855	3,388	△12.1%
居抜き	4,719	5,654	3,915	△30.8%
所有権	1,508	1,568	240	△84.7%
建築事業(受注高)	1,671	736	1,186	+61.1%

■不動産販売事業

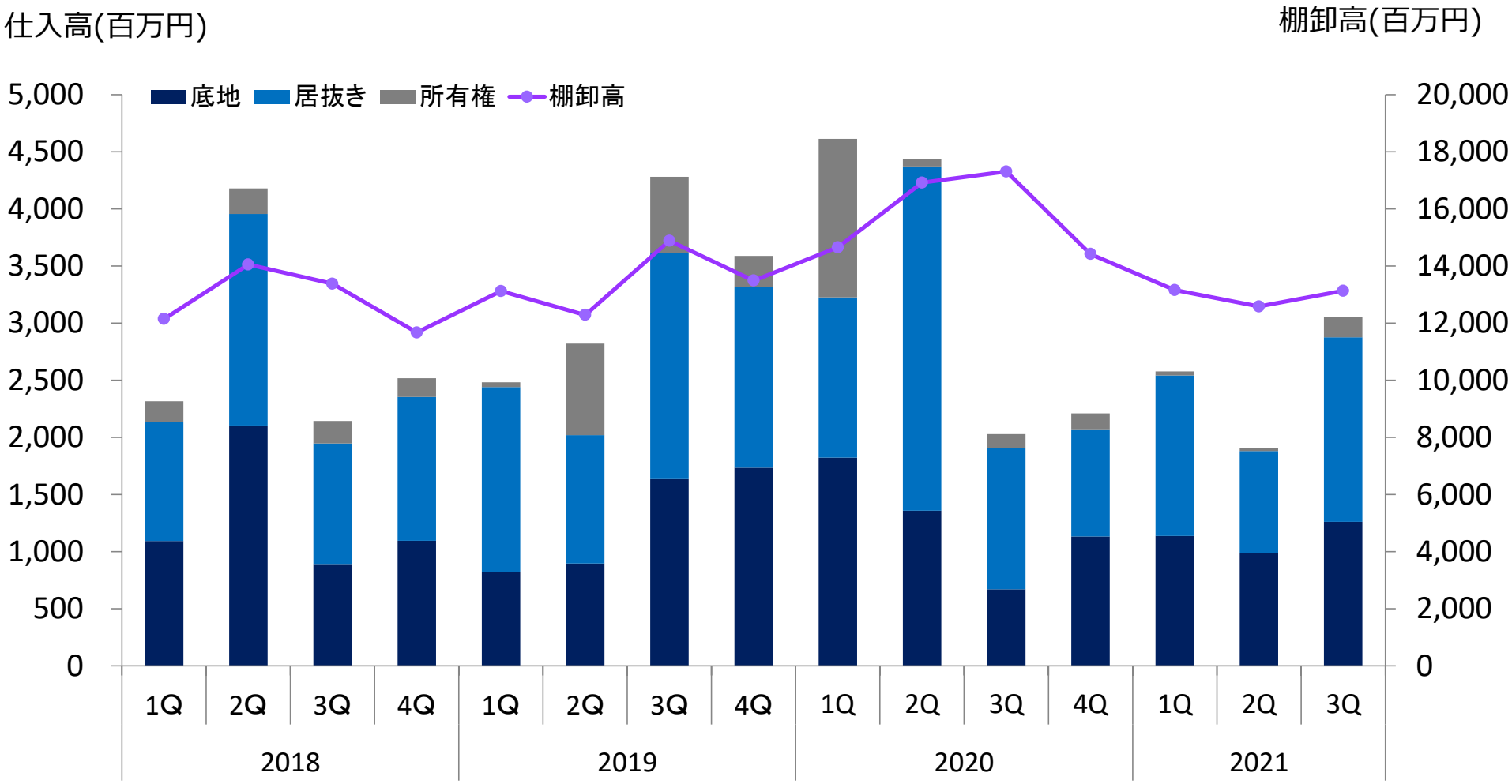
年間仕入高計画　138億円

案件数・仕入契約件数は大幅に改善するものの、一部で決済に至るまでの期間が長期化したことから、積み上がりは鈍化傾向となった
しかし、今期業績に影響はなく、来期の販売確保に向けて引き続き仕入に注力

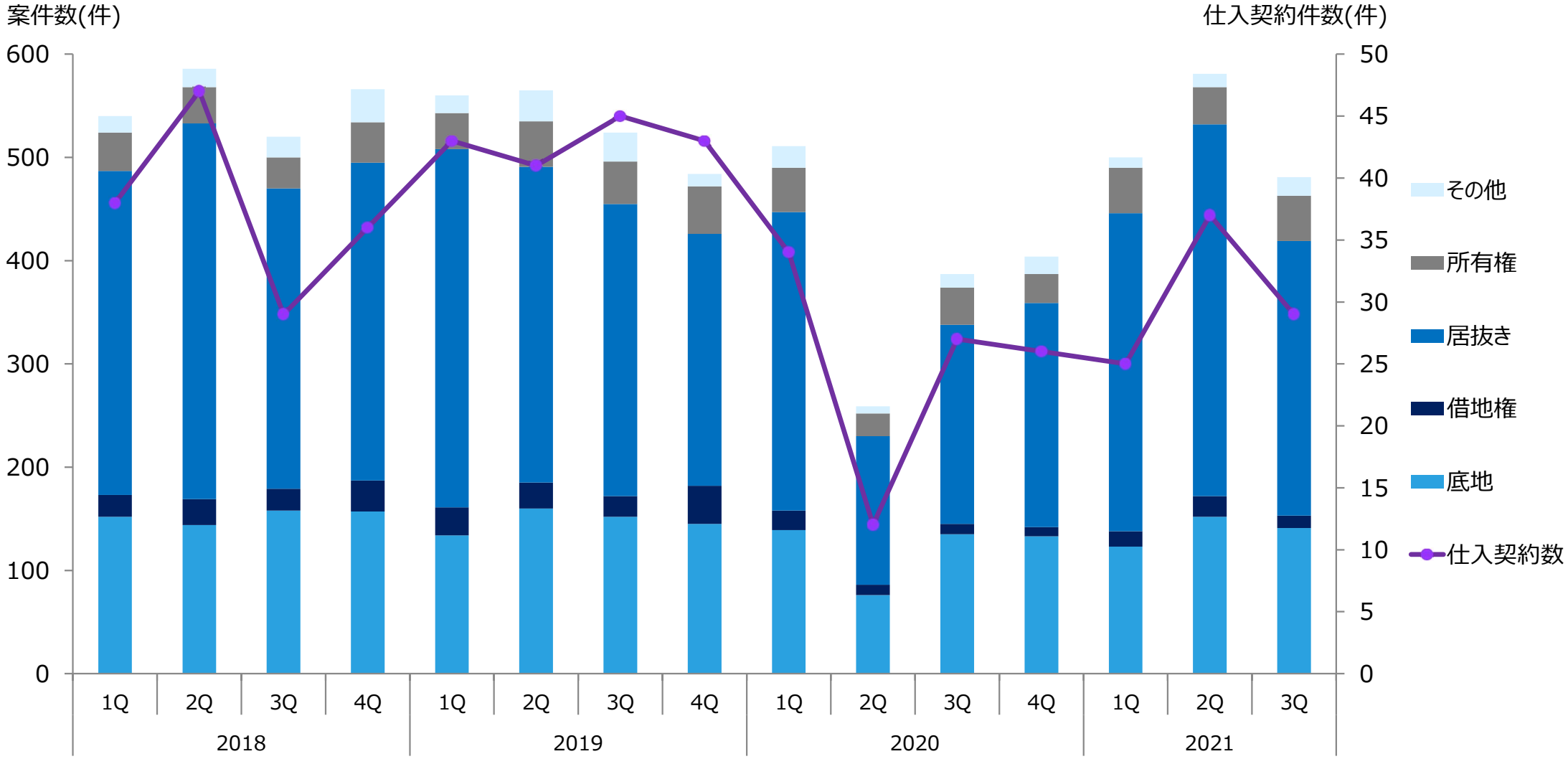
■建築事業

新型コロナウイルス感染拡大やウッドショックの影響はあったものの受注高は回復傾向

仕入高･棚卸高推移表


仕入高(百万円)
棚卸高(百万円)
底地
居抜き
所有権
棚卸高
5,000
4,500
4,000
3,500
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
20,000
18,000
16,000
14,000
12,000
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
0
1Q
2Q
3Q
4Q
2018
2019
2020
2021

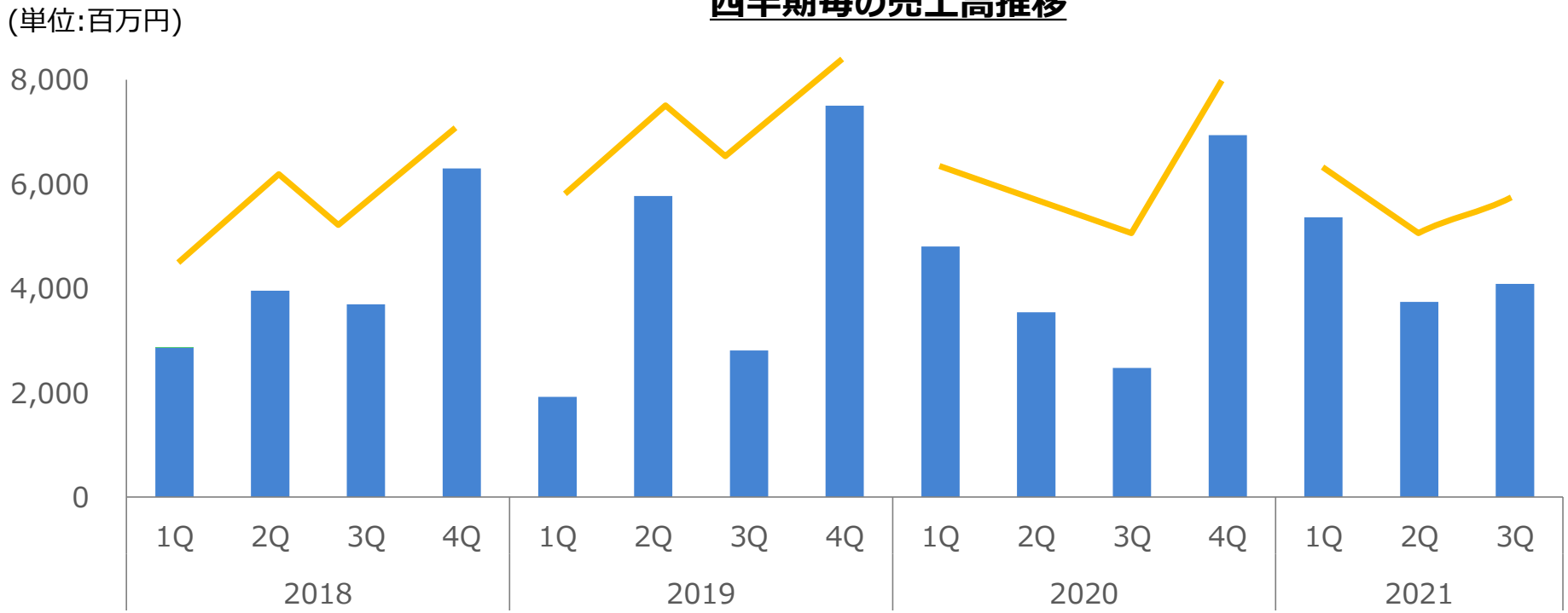
案件数・仕入契約件数動向



今期業績見通しについて

新型コロナウイルスの影響で営業活動を自粛したため、2020年第4Qに販売を見込んでいた一部物件は2021年第1Qで売上を計上した。営業面での対策を講じてきたことで、徐々に販売の遅れを取り戻し、今期の第1Q・第3Qとしては過去最高の売上高・利益水準を達成。今期も2020年までの第4Qの業績水準が継続すれば通期業績は大幅に伸長するものの、コロナ第5波の影響は想定以上に大きく、販売活動が停滞したことから、第4Qの販売予定物件の一部は来期に繰り越す見込み。そのため、大きなマイナス要因が発生しなければ通期で計画達成する見込みだが、通期予想は据え置き

四半期毎の売上高推移



東京証券取引所の新市場区分選択について

当社は、2022年4月4日を移行日とする東京証券取引所の新市場区分について、新市場区分の概要、当社の事業方針、株主様への影響を踏まえて検討を進めてまいりました。
その上で、本日開催の取締役会において、「スタンダード市場」を選択することを決議いたしました。

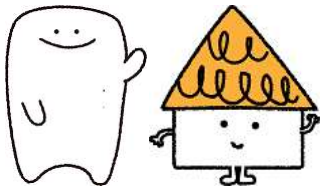
	スタンダード市場	プライム市場	当社の状況 （１次判定）
株主数	達 成	達 成	12,099（人）
流通株式数	達 成	達 成	64,362（単位）
流通株式時価総額	達 成	未達成	56.0（億円）
流通株式比率	達 成	達 成	76.0（%）
売買代金		未達成	15.5（百万円）

新市場区分「スタンダード市場」の上場維持基準に適合しているものの、「プライム市場」の「流通株式時価総額」及び「売買代金」の上場維持基準に適合していないことを確認しております。
当社の中長期的な企業価値の向上を図る上では、急速な成長を目指すのではなく、持続的な成長を実現できる体制作りを構築していくことが必要だと考えています。また、コーポレート・ガバナンスの一層の充実を図ることにより、将来的に「プライム市場」への上場を目指してまいります。

お問い合わせ先

■この資料に記載されている、当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定及び判断などのうち、すでに確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。

■将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があり、これら業績見通しに　過度に依存しないようにお願いいたします。

■本資料に記載されたデータは、当社が信頼に足りかつ正確であると判断した公開情報の引用が含まれておりますが、当社がその内容の正確性・確実性を保証するものではありません。

«問合せ先»
株式会社サンセイランディック　経営企画室
TEL：03-5252-7511
E-mail：keiki@sansei-l.co.jp